

研究課題名	抗 MRSA 薬の経験的投与の適切性に関する後方視的観察研究
研究責任者名	広島大学 病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
対象者	2019年1月～2026年12月の間に、広島大学病院に入院後、経験的治療として抗 MRSA 薬による治療を受けられた患者さん
意義・目的	重症患者に対してメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症は生命に関わる病態であり、重症度やリスクを考慮して経験的に治療薬（抗 MRSA 薬）されます。しかし、実際に MRSA 検出率は高くはないといわれており、抗 MRSA 薬による副作用も発症しやすいため、この度、抗 MRSA 薬が投与された症例に関し、適切性を調査します。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は診療科、入院病棟、患者プロフィール（性別、身長、体重、体表面積、年齢）、既往歴、現病歴・治療歴、薬歴、アレルギー・副作用歴、薬剤投与状況・投与日数、薬剤師の介入内容、服薬状況・調剤方法・投与経路、一般用医薬品・サプリメント・健康食品、入院日数、集中治療室在室日数、患者転帰、重症度スコア（SOFA スコア、APACHE II スコア等）、体外循環機器使用状況（透析・人工心肺等）、入院後の経過、各種検査結果（CT、X線撮影、MRI、エコー、心電図）、血液検査結果、培養結果、血圧・脈拍数、バイタル（体温等）、血液ガス検査結果です。（個人が特定出来る情報は転記しません）
共同研究機関	該当なし
利用を開始する予定日	実施許可日以降
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3  Tel : 082-257-5579  広島大学 病院薬剤部 薬剤師 檜山 洋子</p>

